

仕事リスト 2009/01/31 現在

テキストの題名など	年月日	発表場所	備考
尼僧ヨアンナ (ヤロスワフ・イワシュキェヴィッチ著) 共訳者 吉上昭三	1978/08/01	世界文学全集 第34巻 『ハシエク／チャペック／イワシュキェヴィッチ』学習研究社刊 (309-425頁)	翻訳
ポーランド児童図書展ご案内——付 絵本画家の19人 (共著者 内田莉沙子)	1978	J B B Y 日本児童図書評議会刊	編集
ポーランド児童図書展 (国際児童年記念) 出品目録	同上	同上 (36-54頁)	編集・翻訳
パトロール (スタニスワフ・レム著)	1979/05/15	『遙かな世界 果てしなき海』ダルコ・スーヴイン編 早川書房刊 (53-80頁)	翻訳
エレクトロ・ドラゴンと闘ったコンピューターのお囃 (スタニスワフ・レム著)	同上	同上 (81-89頁)	翻訳
泰平ヨンの航星日記・第十三回の旅 (スタニスワフ・レム著)	同上	同上 (91-112頁)	翻訳
ハンマー (スタニスワフ・レム著)	1979/01	「S Fマガジン」Vol.20, No. 1 早川書房刊 (201-231頁)	翻訳
人間のミグラチオ 緒論	1979/07/01	「季刊藝術」第50号 講談社 (82-96頁)	評論
ジプシーの王子 (エヴァ・シェルブルク＝ザレンビーナ著)	1979/09/05	『世界短編名作選 東欧編』蔵原惟人／監修 新日本出版社刊 (53-61頁)	翻訳
法王の言葉	1980/05	「本」第5巻 第5号 (通巻46号) 講談社刊 (21-23頁)	エッセイ
ヨハネ・パウロ二世の詩について	1981/03	「諸君！」第13巻 第3号 文芸春秋刊 (220-231頁)	評論
白水社ポーランド語辞典	1981/05/20	白水社刊 (802頁) 共編者 木村彰一、工藤幸雄、吉上昭三、小原雅俊、塚本桂子、石井哲士朗	
八つのポーランド歌曲 (F・プーランク) (歌詞対訳)	1982	『プーランク歌曲集』ローズ・デルクール (ソプラノ)、フランシス・プーランク (ピアノ)、ワーナー・パイオニアVOX、H-6023V	翻訳
ポーランド問題とポーランド研究	1982/03	「比較文化」28-2 東京女子大学附属比較文化研究所刊 (4頁)	エッセイ
澁江抽斎 (エドウィン・マクレラン)	1982/12	「文学」岩波書店刊 (73-78頁)	翻訳
スタニスラス一世の紀伝に就いて	1982/12/01	「比較文化雑誌」No.1 東京工業大学比較文化研究会刊 (100-111頁)	
スタニスラス一世ポーランド王とロレーヌ及びパール公国	1984	「比較文化雑誌」No.2 東京工業大学比較文化研究会刊 (68-82頁)	
パンと葡萄酒	1984/08	「KINECA」1984 Aug. 西友文化事業部刊 「遙かなるポーランドは、いま」(2頁)	エッセイ
アイデンティティの探求——夏目漱石の場合—— (江藤淳著)	1985/11/15	『二十世紀の遺産』永井陽之助編 (327-359頁)	翻訳 (英語から)
ブロニスラフ・マリノフスキーの日記をめぐって	1986/06/15	「西スラヴ学論集」Vol.1 西スラヴ学研究会刊 (77-95頁)	
ポーランドとポロニア——ポーランド人の国外移住	1986/10	「海外事情」Vol.34, No.10, 拓殖大学海外事情研究所刊 (51-58頁)	評論
Tradycyjna świadomość czasu w Japonii – jej cztery aspekty (日本の伝統的時間意識——	1987/03/01	「東京工業大学 人文論叢」No.13 東京工業大学人文社会群紀要 (25-35頁)	ポーランド語 (「要旨と後

四つの視点)			記」は日本語)
Czas po japońsku (日本の時間について)	1987/05/27	Towarzystwo Polsko-Japońskie, Oddział w Krakowie, Dom Polonii, Rynek Główny 14, Kraków (ポーランド=日本協会クラクフ支部)	講演 (ポーランド語)
マリノフスキーの出発	1988/02/05	「比較文化雑誌」No. 3 東京工業大学比較文化研究会刊 (69-86 頁)	
K・ヴォイティワの中の十字架のヨハネ——「隠れたる神に寄せる歌」(1944)をめぐって	1989/03/31	「比較文化雑誌」No.4 東京工業大学比較文化研究会刊 (11-32 頁)	
オデュッセウス最後の旅 (ヤン・パランドフスキ著)	1990/01/20	『ポーランド文学の贈りもの』(関口時正他・訳) 恒文社刊 (203-217 頁)	翻訳
世紀末ポーランド・浮世絵の灯	1990/04/19	日本経済新聞 (朝刊)	エッセイ
世紀末のワルシャワとクラクフそして浮世絵	1990/08/30	「ポロニカ」No.1 恒文社刊 (130-144 頁)	評論
ポーランドの落書	1990/09	「言語」Vol. 19 No. 9 大修館書店刊 (22-23 頁)	エッセイ
クラクフ——月の都あるいはネクロポリア	1990/09	「三省堂ブックレット」〈中欧都市漫歩〉三省堂刊 (28-36 頁)	エッセイ
ポーランドの〈NIPPON〉展 1990	1990	『ポーランドの〈NIPPON〉展 1990』西武百貨店刊	監修 (単行本)
クラクフ国立美術館日本部案内 [1906 年] (フェリクス・ヤシェンスキ著)	同上	同上 (8-13 頁)	翻訳
クラクフ国立美術館フェリクス・ヤシェンスキ・コレクション (ゾフィア・アルベル著)	同上	同上 (14-16 頁)	翻訳
ヤシェンスキの孤独	同上	同上 (76-78 頁)	エッセイ
ポーランド・モダニズムにおける日本美術の影響 (ウーカシュ・コソフスキ著)	同上	同上 (86-102 頁)	翻訳
ポーランド現代版画の出発とヤシェンスキ	1991/03/30	「国際交流」55 号、国際交流基金刊 (82-84 頁)	エッセイ
若き日のヨハネ・パウロ二世と十字架の聖ヨハネ	1991/11/04	『現代と十字架のヨハネ』カルメル会編著、聖母の騎士社刊 (331-348 頁)	評論
水鶏 (S・I・ヴィトキューヴィッチ著)	1991/12/15	「ポロニカ」No.2、恒文社刊 (100-143 頁、解題 142-143 頁)	翻訳
世紀末ポーランドで日本美術を見る困難について	1992/07	「比較文学研究」No. 61、東大比較文学會刊 (18-31 頁)	
PERFORMER (イェジー・グロトフスキ著)	1992/11/20	「ポロニカ」No.3 恒文社刊 (12-21 頁、解説 19-21 頁)	翻訳
グロトフスキ、媒ちとしての芸術(ピーター・ブルック著)	同上	同上 (22-26 頁)	翻訳 (英語から)
戯曲『隣の部屋』(ズビグニェフ・ヘルベルト著)	同上	同上 (106-117 頁、解説 117 頁)	翻訳
肖像画商会規約 (S. I. ヴィトキューヴィッチ著)	同上	同上 (228-237 頁、解説 233-236 頁)	翻訳
映画『婚礼』再見——強烈な自己批判精神	1993/03/24	読売新聞 (夕刊)	エッセイ
ワイダの「婚礼」とその原作	1993/05	「友」No. 263、岩波ホール (6 頁)	エッセイ
世界の料理 2 3 ポーランド	1993/11	「言語」Vol.22 No.11 大修館書店刊 (8-9	エッセイ

		頁)	
ヤン・コット 私の物語	1994/12/08	みすず書房刊 (総頁数 398)	翻訳 (単行本)
〔ポーランド〕 在留日本人の生活	1994	『国際理解教育と教育実践』 第4巻 エムティ出版刊 (72-78 頁)	エッセイ
タデウシュ・カントル 我が芸術=旅=我が人生	1994	セゾン美術館刊	翻訳監修 (単行本)
カントルのクラクフ	1994	『タデウシュ・カントル 我が芸術=旅=我が人生』 セゾン美術館刊 (241-252 頁)	エッセイ
タデウシュ・カントルの軌跡 (ミェチスワフ・ポレンプスキ著)	同上	同上 (19-43 頁)	翻訳
カントルの芸術宇宙 (ゾフィア・ゴウビェフ著)	同上	同上 (56-71 頁)	翻訳
わが創作—わが旅 (ゾフィア・ゴウビェフ著)	同上	同上 (72-231 頁)	翻訳
Daleko do Ameryki (アメリカは遠く)	1995	2B - Polish American Academic Quarterly, No.7-8 (56-59 頁)	エッセイ (ポーランド語)
日本を恋した男—ヤシェンスキの浮世絵	1995/02/25	テレビ西日本制作、フジ系列テレビ全国 26局放送 14:35-15:50	テレビ番組の監修・翻訳
O tokijskiej polonistyce (東京のポーランド学専攻について)	1995	Teksty Drugie, 2 (32) Instytut Badań Literackich PAN 刊 (142-145 頁)	エッセイ (ポーランド語)
Polonistyka w Japonii (日本のポーランド研究)	1995/09/15	Międzynarodowa Konferencja Naukowa Polonistów „Język polski w kraju i za granicą”, Uniwersytet Warszawski, Warszawa (ワルシャワ大学)	学会発表 (ポーランド語)
クラクフ—知られざる古都	1996/02/20	『世界の歴史と文化—中欧』 新潮社刊 (80-84 頁)	エッセイ
ヴェリチカ—塩でできた地底都市	同上	同上 (84 頁)	エッセイ
ポーランドの料理と酒	同上	同上 (298-301 頁)	エッセイ
Wprowadzenie o jego aw KPJO na zajęciach dla japońskich o jego aw (ポーランド文化の基礎的事項を日本の学生のための授業でどう教えるか)	1996/09/22	Konferencja Polonistów o jego aw zny i Polskich, Instytut Polonijny Uniwersytetu Jagiellońskiego (クラクフ、ヤギェロン大学)	学会報告 (ポーランド語)
時空超え俯瞰する視線—ノーベル文学賞受賞シンボルスカ氏	1996/10/07	産経新聞	エッセイ
派遣国お国事情 ポーランド共和国	1996/12/15	「クロスロード」第32巻361号 国際協力事業団青年海外協力隊事務局刊 (62-63 頁)	エッセイ
ヴィエロポーレ、ヴィエロポーレ (タデウシュ・カントル著)	1996/11/18	世界文学のフロンティア 4『ノスタルジア』 岩波書店刊 (91-102 頁)	翻訳
Polonistyka w Japonii (日本のポーランド研究)	1997	Język polski w kraju i za granicą, t2, Dom Wydawniczy ELIPSA 刊 (209-217 頁)	エッセイ (ポーランド語)
尼僧ヨアンナ (J・イヴァシュキェヴィッチ著)	1997/02/17	岩波文庫 32-777-1 岩波書店刊 (総頁数 274)	翻訳 単行本
Polska w dziejach samopoznania Europejczyków – Próba omówienia wybranych elementów kultury polskiej w uniwersalnym kontekście (ヨーロッパ人の自己認識史におけるポーランド—世界的文脈でポーランド文化を論ずる一つの試み)	1997/09/19	Międzynarodowa Konferencja Naukowa „Polonistyczna edukacja językowa i kulturowa cudzoziemców”, Uniwersytet Łódzki, Łódź (ウツチ大学)	学会基調講演 (ポーランド語)

二つの反逆「(イエジー・ヤジェンプスキ著)	1997/11	「ユリイカ」青土社刊(307-315頁、解説314-315頁)	翻訳
演出家ルドルフ・ジョーウォに聞く(ルドルフ・ジョーウォ著)	1997/05/09	COCOON, Vol.167, No. 1「阿呆劇トゥーランドット姫」東急文化村刊(4-7頁)	翻訳
アンジェイエフスキと『聖週間』	1997	「聖週間」EQUIPE DE CINEMA, No. 121 岩波ホール刊(11頁)	エッセイ
イヴァンシュキェヴィッチと『ヴィルコの娘たち』	1997	「ヴィルコの娘たち」EQUIPE DE CINEMA, No. 122 岩波ホール刊(10-11頁)	エッセイ
王女イヴォナ(ヴィトルト・ゴンプロヴィッチ著)	1997/10/24-1/03 上演	シアターX5周年記念プロデュース公演、於東京両国シアターX	翻訳
ゴンプロヴィッチの『ブルグンド公女』について	1997/10/20	シアターX	エッセイ
Bolesław Prus o Japonii i Japończykach(日本及び日本人について書くボレスワフ・プルス)	1998	<i>Jubileuszowe „Żniwo u Prusa”: Materiały z Międzynarodowej sesji prusowskiej w 1997 r.</i> Instytut Filologii Polskiej Wyższej Szkoły Pedagogicznej w Częstochowie 刊(319-331頁)	ポーランド語
9つのひそやかなドラマ、9つのディレンマ『ワーニャ伯父さん』演出にあたって(ルドルフ・ジョーウォ著)	1998/05/15	COCOON, Vol.186, No. 3「ワーニャ伯父さん」東急文化村刊(4-7頁)	翻訳
Polska w dziejach samopoznania Europejczyków – Próba omówienia wybranych elementów kultury polskiej w uniwersalnym kontekście(ヨーロッパ人の自己認識史におけるポーランド——世界的文脈でポーランド文化を論ずる一つの試み)	1998	„Polonistyczna edukacja językowa i kulturowa cudzoziemców” ACTA UNIVERSITATIS LODZIENSIS, <i>Kształcenie polonistyczne cudzoziemców</i> 10, Uniwersytet Łódzki 刊(257-264頁)	評論(ポーランド語)
ポーランドの学術研究支援体制	1998/06/15	平成10年度第1回国際学術研究総括班会議	報告
演出にあたって(ルドルフ・ジョーウォ)	1999/01/12	COCOON, Vol. 203, No.5「夏の夜の夢」東急文化村刊(6頁)	翻訳
ポーランドの学術研究支援体制	1999/03	文部省科学研究費・国際学術研究「海外学術調査ニュースレター」No.41, 国際学術研究総括班編(11-14頁)	報告
東欧革命から10年——中欧の文化はいま(3)ポーランド	1999/05/15	「信濃毎日新聞」	エッセイ
Detronizacja literatury na polonistyce japońskiej I jej kontratak(文学の退位と反撃——日本のポーランド学教育の現場から)	1999/09/16	Międzynarodowa Konferencja Naukowa „Polonistyka w świecie. Nauczanie języka I kultury polskiej studentów zaawansowanych”, Uniwersytet Marii Curie-Skłodowskiej, Lublin(ルブリンUMCS大学)	学会発表(ポーランド語)
日本のポーランド語・ポーランド文化教育	1999	『ショパン・ポーランド・日本展』日本・ポーランド国交樹立80周年記念展実行委員会刊(214-217頁)	エッセイ
ポーランド美術における日本の影響(ウカシュ・コツソフスキ著)	同上	同上(145-147頁)	翻訳
日本美術蒐集家・紹介者としてのフェリクス・マンガ・ヤシェンスキ(マウゴジャタ・マルティニ著)	同上	同上(151-153頁)	翻訳
20世紀ポーランド演劇——力とその源泉	2000/02/13	日本演出者協会主催「国際演劇交流セミナー」於シアターX	講演

Detronizacja literatury na polonistyce japońskiej i jej kontratak (文学の退位と反撃——日本のポーランド学教育の現場から)	2000	<i>Polonistyka w świecie – Nauczanie języka i kultury polskiej studentów zaawansowanych</i> , Uniwersytet Marii Curie-Skłodowskiej 刊 (215-223 頁)	評論 (ポーランド語)
ポーランド文学	2000/02/10	原卓也・西永良成編『翻訳百年——外国文学と日本の近代』大修館書店刊 (154-178 頁)	評論 (公開講座講義の文章化)
挽歌 第十九 (ヤン・コハノフスキ)	2000/06/10	『文学の贈物——東中欧文学アンソロジー』小原雅俊編、未知谷刊 (30-38 頁)	翻訳
「クシヨンシュキ (本)」webサイトの解剖——ポーランド	2000/07/10	「季刊・本とコンピュータ」2000年夏号、大日本印刷株式会社 ICC 本部刊 (170-175 頁)	エッセイ
Rewolucja informacyjna w kontekście studiów polonistycznych w Japonii (日本のポーランド学の文脈における情報革命)	2000/09/14	Międzynarodowa Konferencja Naukowa „Nowe programy, nowe metody, nowe technologie w nauczaniu kultury polskiej i języka polskiego jako obcego. Teoria i praktyka”, Uniwersytet Śląski, Cieszyn (シロンスク大学)	学会発表 (ポーランド語)
Po detronizacji literatury — sprawozdanie z polonistyki japońskiej	2001/5	Polonistyka. 2001/5, s. 266-272.	評論 (ポーランド語)
ショパン歌曲全集 (歌詞対訳)	2001/7/25	Accord DICA-26001 (輸入・販売 トライエム)	翻訳
カルウオヴィチ歌曲全集 (歌詞対訳)	2001/7/25	Accord DICA-26002 (輸入・販売 トライエム)	翻訳
ポーランド歌曲選集 (歌詞対訳) ショパン、モニューシュコ (平岩理恵訳)、カルウオヴィチ、シマノフスキ、ルトスワフスキ	2001/7/25	Accord DICA-26003 (輸入・販売 トライエム)	翻訳
三島との出会い (ヘンリク・リップシッツ著)	2000/11/01	「新潮」11月臨時増刊「三島由紀夫没後三十年」新潮社刊 (194-198 頁)	翻訳
ショパンの生涯 (バルバラ・スモレンスカ＝ジェリンスカ著)	2001/01/05	音楽の友社刊 (総頁数 366)	翻訳
映画『パン・タデウシュ物語』	2001/01/10	「アミューズ」第54巻第1号、毎日新聞社刊 (98 頁)	エッセイ
ポーランド語のヤン・コット	2002/03	「英語青年」2002年4月号, pp.8-10 研究社刊	エッセイ
Moja polska	2002/07/13	Tygodnik powszechny, nr 28 (2766), 14 lipca 2002	エッセイ (ポーランド語)
ヨハネ・パウロ二世	2002/08/20	『戦後世界の政治指導者50人』自由国民社刊 (174-179 頁)	エッセイ
The linguistics of Bronislaw Malinowski (Krystyna Pisarkowa)	2002/09	<i>People and Culture in Oceania</i> , vol. 18, pp. 102-104, September 2002, The Japanese Society for Oceanic Studies	書評
Forsycja i czeremcha – o potrzebie opisywania <i>mojego świata w języku polskim</i>	2002/09/26	Międzynarodowa Konferencja Naukowa „Język polski, literatura i kultura polska w dydaktyce języka polskiego jako obcego,” Uniwersytet Wrocławski & Politechnika Wroclawska, Polska (ヴロツワフ大学)	学会基調講演 (ポーランド語)
ポーランド語文学を語り続ける (民族)	2003/03/26	岩波講座『文学』第13巻「ネイションを超えて」、岩波書店 (51-72 頁)	エッセイ
カントルの最後のテープ (Ostatnia taśma)	2003/12/01	「カントルの最後のテープ」ポーランド共和	翻訳

Kantora / Leszek Kolankiewicz)		国大使館&シアターX (1-32 頁)	
カントルのマネキン	2004/10/14	「妄想」/特集#「ドール」ISBN4-9900868-8-0 (58-61 頁)	エッセイ
Forsycja i czeremcha – o potrzebie opisywania mojego świata w języku polskim	2004	Wroclawska dyskusja o języku polskim jako obcym, Wrocław 2004, s. 37-43.	エッセイ
カシューブ——生き残った独自のスラヴ文化	2005/07/15	講座『世界の先住民族——ファースト・ピープルズの現在——06 ヨーロッパ』明石書店、p. 306-319.	エッセイ
前衛という宿命、あるいは 20 世紀ポーランド美術——コプロとスツジェミンスキ	2005	『転換期の作法——ポーランド、チェコ、スロヴァキア、ハンガリーの現代美術』国立国際美術館、東京都現代美術館、広島市現代美術館、国際交流基金、p. 156-171 (English translation: p. 172-184.)	エッセイ
「ポーランド《防壁論》のレトリック——1543 年まで」	2005/07/29	「東京外国語大学論集」第 70 号、p. 105-129.	論文
Gombrowicz czytany pionowo	2006	Literatura polska w świecie – zagadnienia recepcji i odbioru, red.: Romuald Cudak, Wydawnictwo Gnome, Katowice 2006, s. 159-170.	論文
ポーランド文学史 (チェスワフ・ミウォシユ著)	2006/05/10	未知谷刊、他の訳者——森安達也、長谷見一雄、沼野充義、西成彦 (総頁数 988)	翻訳・解説
挽歌 第一～十八 (ヤン・コハノフスキ)	2006/11/11	『ポケットのなかの東欧文学——ルネッサンスから現代まで』飯島周・小原雅俊編、成文社刊、p. 7-24.	翻訳
15 lat Seminarium Kultury Polskiej na TUFs	2007/10/26	Studia Polonistyczne w Azji, red.: Cheong Byung Kwon, East European and Balkan Institute & Department of Polish Studies, Hankuk University of Foreign Studies, Seoul 2007, s. 57-71.	エッセイ
Radykalność i otwartość liryki Wisławy Szymborskiej – lektura heterodoksyjna	2007	Literatura polska w świecie, Tom II – w kręgu znawców, red.: Romuald Cudak, Wydawnictwo Gnome, Katowice 2007, s. 15-38. (ISBN 978-83-87819-05-7)	論文
narodowość, polskość, lechickość——藝術論争史から	2007/04/20	『フォーラム・ポーランド 2005-2006 会議録』、ふくろう出版、p. 41-44. (ISBN 978-4-86186-315-8)	講演要旨
Narodowość, polskość, lechickość – ze sporów o sztukę	同上	同上、pp. 91-94.	講演要旨 (ポーランド語)
シマノフスキに会おう道	2007/11/1	「音楽現代」2007 年 11 月号 (Vol. 37 No. 11)、芸術現代社、p. 104-5.	エッセイ
シマノフスキのショパン		同上 p. 108-9.	エッセイ
シンボルスカの「驚愕」	2008/02/07	「attention」, no. 2, real arena, p. 92-94.	エッセイ
ポーランド演劇——2007 政治との対話・回顧・安定	2008/03/27	Theatre Year-book 2008 – Theatre Abroad、国際演劇協会、p.90-96.	エッセイ
ボレスワフ・プルの日本論	2008/03/31	「西スラヴ学論集」第 11 号、西スラヴ学研究会、p.24-43.	論文
Azja nie istnieje	2008	Teksty drugie, nr 4 [112], 2008, str. 48-75. (Instytut Badań Literackich Polskiej Akademii Nauk) Accessible at: <a href="http://www.ceeo.com">www.ceeo.com</a>	評論 (講演)